

4-1 中城御殿跡の概要

中城御殿跡の目指すべき姿

- ①周辺施設の首里城や円覚寺跡、松崎馬場などと一体的な整備を行うことで、歴史的風致景観の創出や首里城公園全体の魅力向上を図ります。
- ②体験学習施設（社会教育施設）を整備することで、首里城及び琉球の歴史・文化の体験学習、展示、講座、交流などの教育普及の場となります。
- ③首里のまちの拠点施設として、首里に関連する歴史・文化を体験紹介する場の創出と、地域における伝統文化の継承促進及び愛着や誇りの醸成、地域への周遊促進などに寄与する。

■中城御殿の役割

①首里城公園全体の魅力向上 (歴史的風致景観の創出)

- 城郭内にあった美術工芸品やその他資料の展示・収蔵
- 歴史的風致景観の連続性や公園全体の回遊性の確保
- 公園利用者へのサービス向上と満足度向上
- 首里城への眺望景観の確保

②琉球の歴史・文化の体験学習 (展示・体験・講座・交流)

- 王家ゆかりの屋敷である琉球建築・庭園の体験
- 首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できる物語性のある展示
- 琉球の歴史・文化の発信・体験・学習・継承

③首里のまちの拠点施設 (まちの紹介、文化継承・周遊)

- 首里城公園の案内、情報発信(首里城、中城御殿、円覚寺他)
- 地域文化の体験、継承の場
- 地域の人々と来訪者の交流の場、地域への周遊拠点

■主な展示予定資料

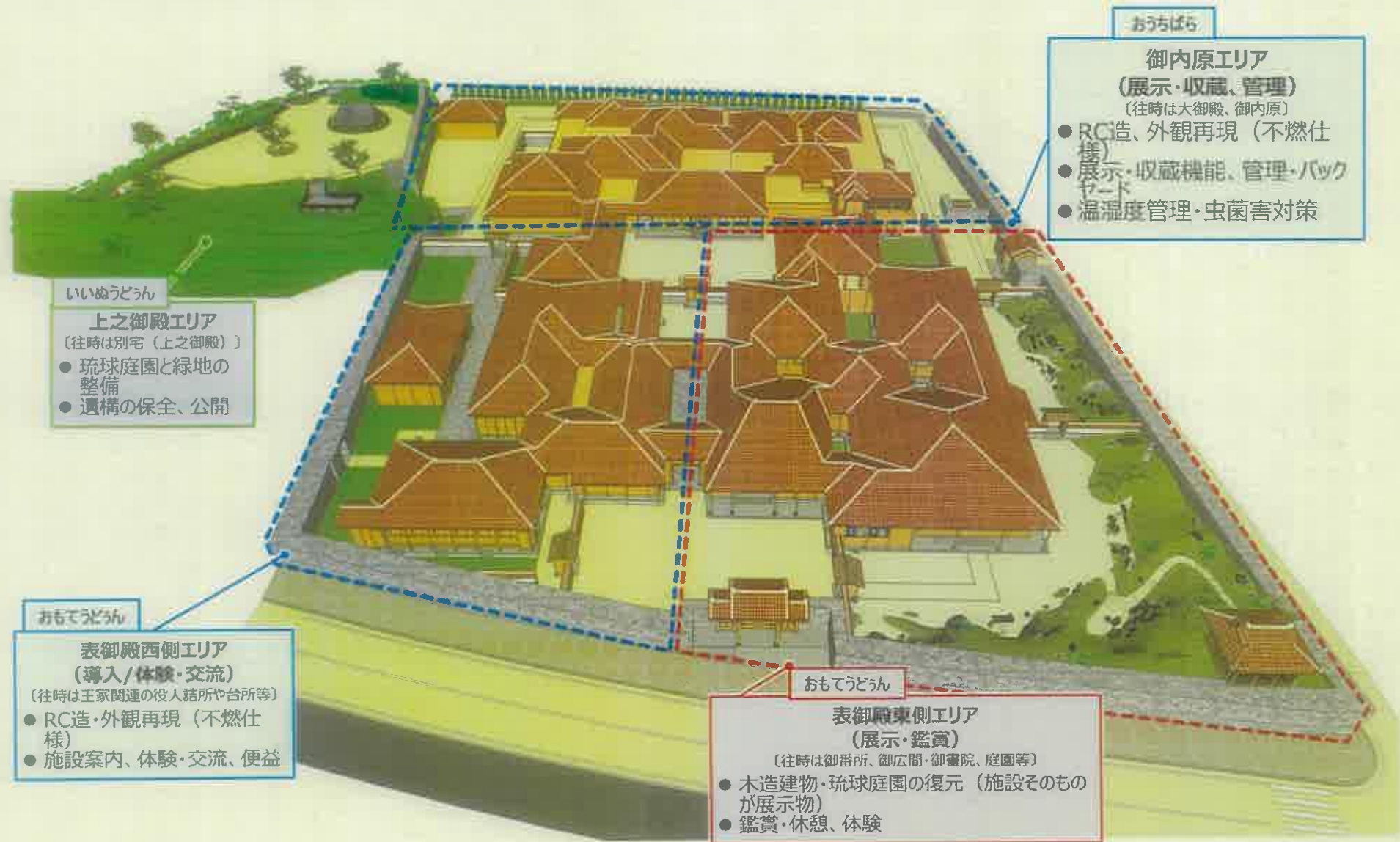
火災前、首里城城郭内で展示・収蔵していた美術工芸品等



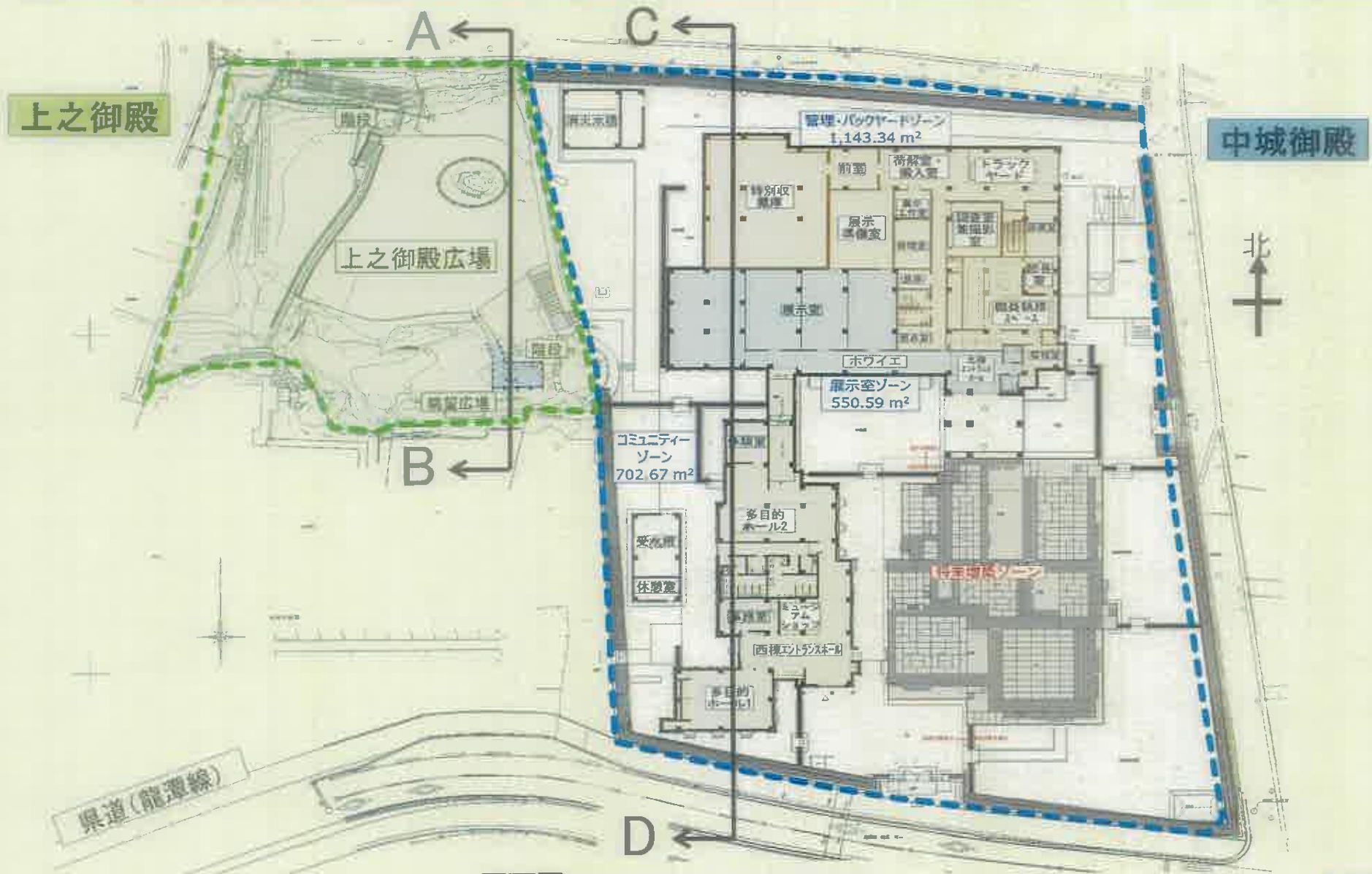
国宝・琉球国王尚家関係資料(那覇市所有)



4-2 中城御殿跡のイメージ図

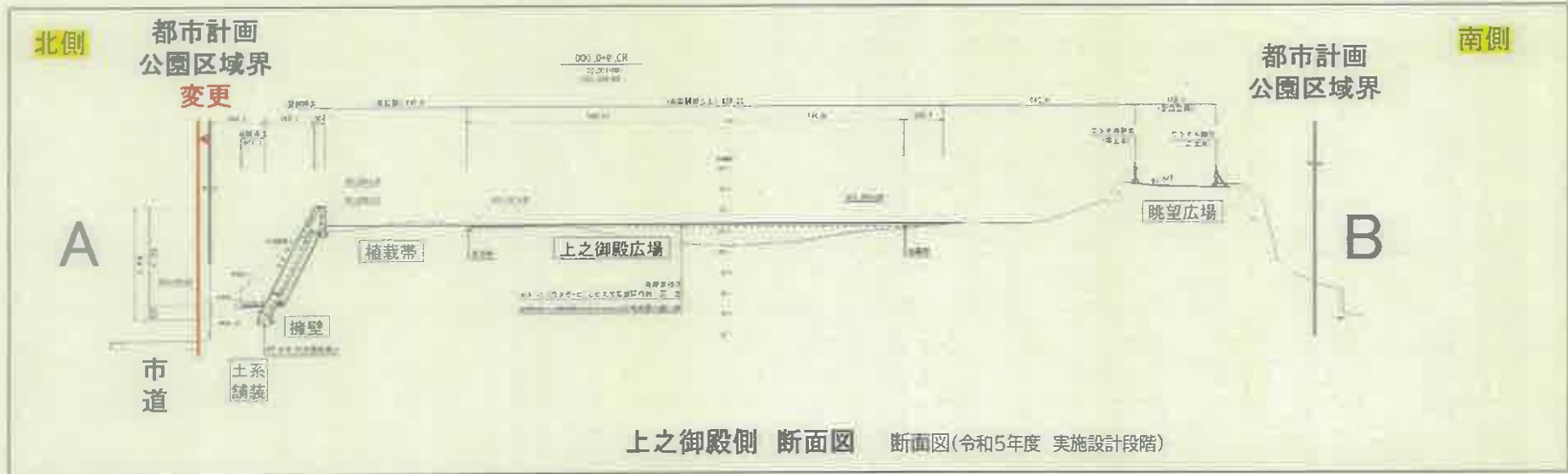


4-3 中城御殿跡の平面図（案）



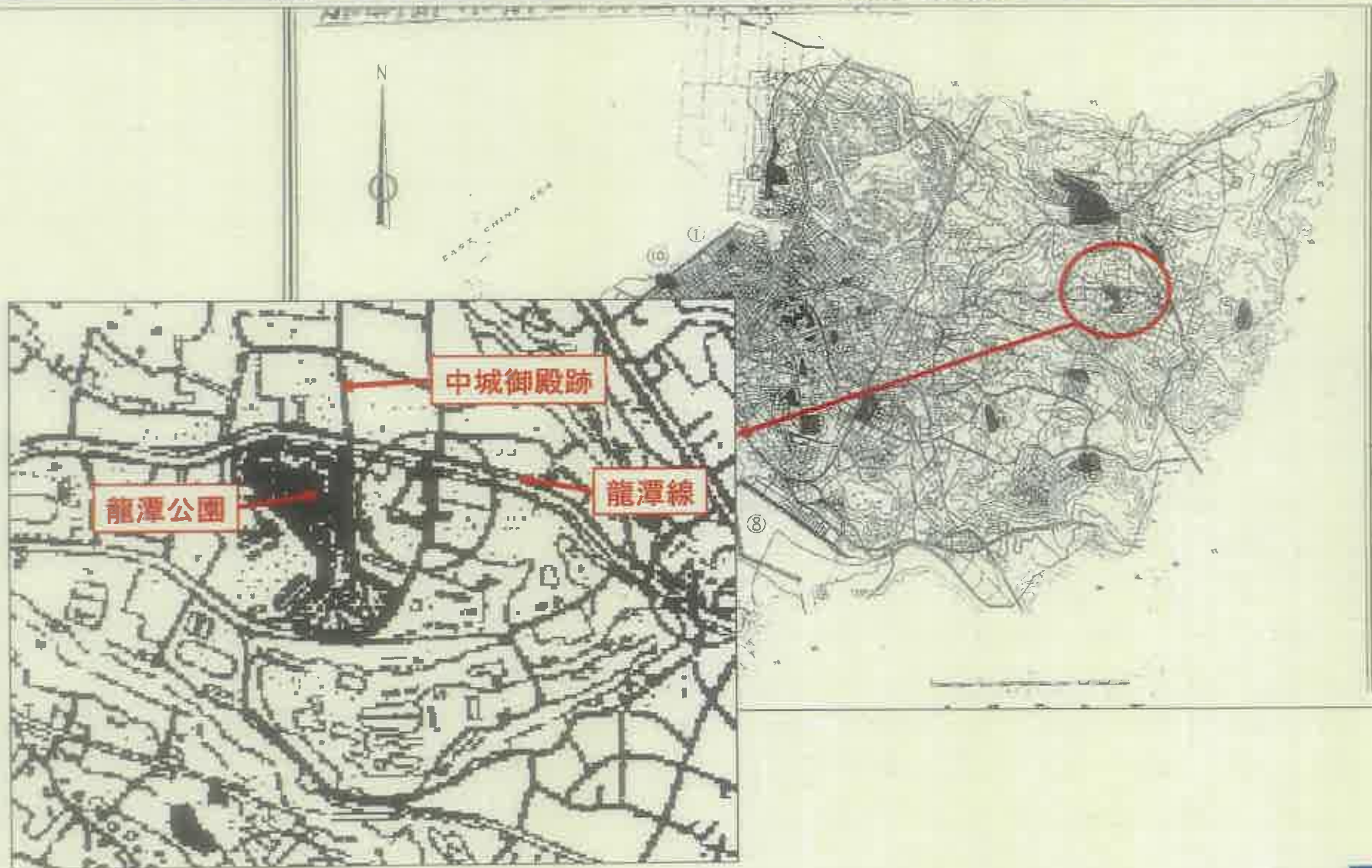
平面図(2023年8月 基本設計段階)

4-4 中城御殿跡の断面図（案）



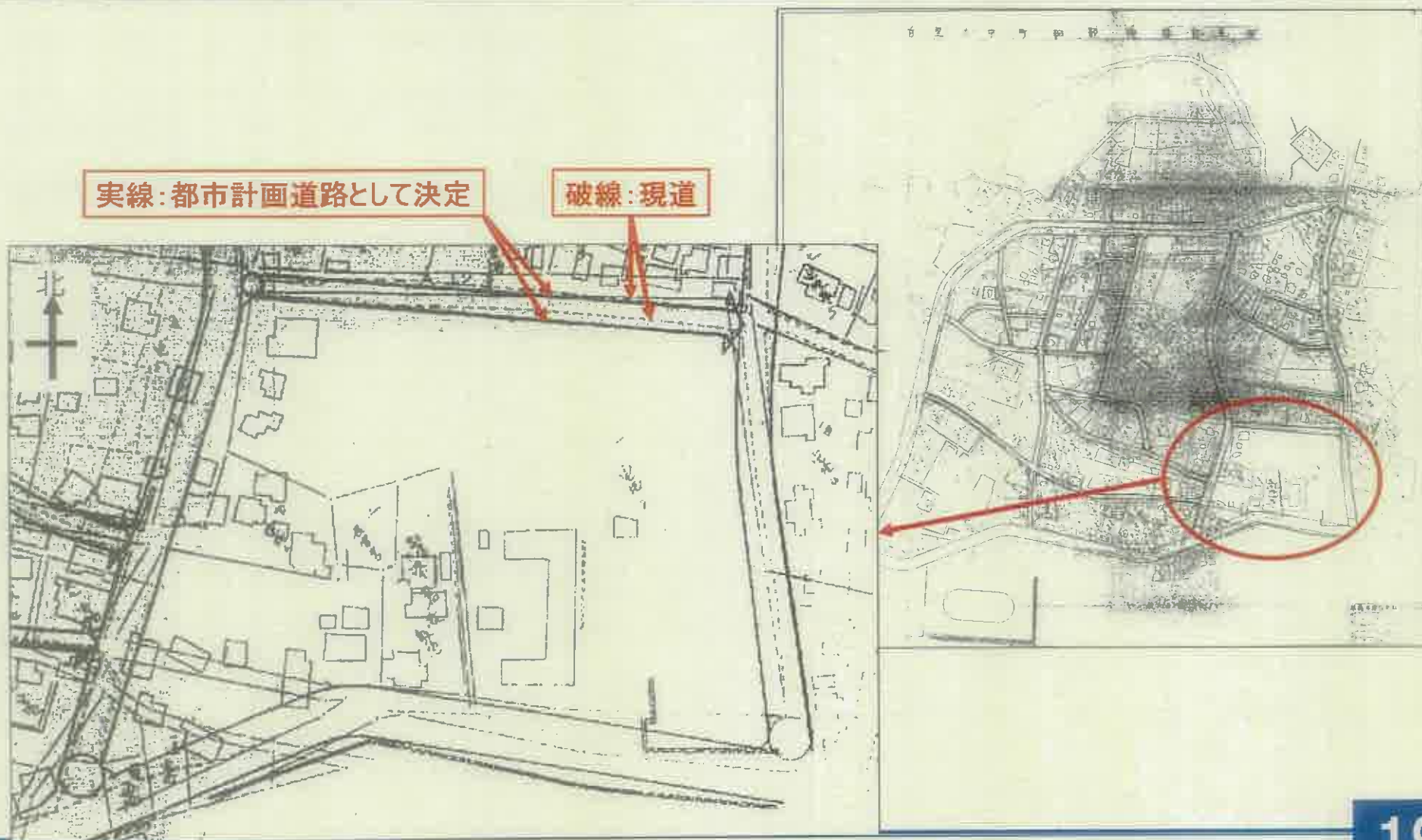
4-5 都市計画の決定の経緯（中城御殿跡）

昭和31年に、龍潭公園が都市計画決定されました。当時は中城御殿跡は含まれていません。



4-6 都市計画の決定の経緯（中城御殿跡）

昭和35年に、大中町内の細街路8路線における都市計画決定において、現道より南側に拡幅する計画で道路区域が定められました。



4-7 都市計画の決定の経緯（中城御殿跡）

昭和62年に、龍潭公園を廃止のうえ首里城公園が中城御殿跡を区域に含み都市計画決定されました。このとき、北側は将来拡幅が予定されている都市計画道路の境界に合わせて決定されました。

赤線：都市計画道路の境界に合わせて決定

黒線：現道



青線：龍潭公園の廃止

赤線：首里城公園に編入

県道40号線及び市道当蔵1号・3号(大田)系田路街路計画線